

主な内容

こんなことが決まりました  
市政のここが聞きたい  
予算審査特別委員会

委員会活動

陳情

傍聴席

編集後記

# 議会です、 こんにちは

## こんなことが決まりました

第1回定例会(3月7日から3月18日)で可決された議案等(49件)意見等(5件)の主なものは次のとおりです。

- 議案**
- 平成16年度留萌市一般会計補正予算(第5号)
  - 平成16年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(2号)
  - 平成16年度留萌市老人保健事業特別会計補正予算(第2号)
  - 平成16年度留萌市港湾事業特別会計補正予算(第1号)
  - 平成16年度留萌市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
  - 平成16年度留萌市神居岩スキー場事業特別会計補正予算(第1号)
  - 平成16年度留萌市水道事業会計補正予算(第2号)
  - 平成16年度留萌市病院事業会計補正予算(第1号)
  - 平成17年度留萌市一般会計予算
  - 平成17年度留萌市国民健康保険事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市老人保健事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市介護保険事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市港湾事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市下水道事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市神居岩スキー場事業特別会計予算
  - 平成17年度留萌市水道事業会計予算
  - 平成17年度留萌市病院事業会計予算
  - 留萌市土地開発基金条例を廃止する条例制定について
  - 留萌市農村交流センターの指定管理者の指定について
  - 市長等及び一般職員の給与の特例に関する条例制定について
  - 留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市旅費条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市税条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市障害者住宅整備資金貸付条例を廃止する条例制定について
  - 留萌市老人居室整備資金貸付条例を廃止する条例制定について
  - 留萌市敬老祝金支給条例を廃止する条例制定について
  - 留萌市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市観光施設条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
  - 留萌市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

- 留萌教育総合センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市公民館等使用条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市体育施設条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市勤労福祉センターの指定管理者の指定について
- 留萌市東部地区公民館の指定管理者の指定について
- 留萌市議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市議政務調査費交付条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例制定について
- 留萌市職員定数条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市農業委員会委員定数条例制定について
- 留萌市文化センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市公民館条例の一部を改正する条例制定について
- 留萌市海のふるさと館条例の一部を改正する条例制定について
- 市立留萌図書館条例の一部を改正する条例制定について

## 意見書

- 所得税等の定率減税縮減・廃止に反対する意見書
- 教育基本法見直しの慎重な対応を求める意見書
- 北海道経済の活性化等を求める意見書
- ハイヤー・タクシーに関する政策の抜本改正を求める意見書
- 発達障害児(者)に対する支援促進を求める意見書

## 市政のここが聞きたい

### 一般質問

#### 市民連合

菅原千鶴子議員

- 一、市立病院の運営について
- 二、介護保険制度改正について

一、市立病院の利用者に病院情報をもっと開示し、クリニカルパスの活用を拡大して高品質な医療の提供で患者の満足度を高め、後発医薬品の活用を拡大して患者の医薬品代金負担軽減を推進するべきではないか。

二、保健・医療・福祉の連携を進めなくてはならない来年度の改正で、在宅介護支援センター機能の役割が変わるが人員は大丈夫なのか。介護予防についての取り組みは今後更に重要になるが事業メニューはどうか。十月からの施設利用者の個人負担変更

◆菅原議員への答弁

一、情報については、医療法に触れない範囲で院内広報誌・HPなどを活用し開示している。クリニカルパスは、四

五年前から導入しており医療の安全面、経済面、患者の満足度の面からも重要だ。今後も運用し評価を受けて継続的に改善していく。後発医薬品は、有効性、安全性、副作用などが不安である。品質管理を含めた安全性が確認できれば、今後ますます増えていくと思う。

二、体制はまだ決定ではないが今後充実の方向で検討する。介護予防は現行のメニューを拡大し、一年かけて検討していく。周知については金額がわかり次第行う。保健・医療・福祉の一体的推進を図り最もよい方法で充実させたい。

#### 萌政会

近藤明美議員

- 一、ロシア・サハリン州との交流について
- 二、犯罪予防について

一、サハリンの「もい展」開催の準備と事前調査のためにサハリン州訪問が実施された。訪問先の自治体、企業、団体などの懇談で要請された長沼市長のサハリン訪問にどう対応するつもりか。また、スポーツ交流として野球指導者派遣を要請され、さらに子供の交流も行いたいとの要望もあるがどうか。

二、最近、校舎や通学路で信じられぬような凶悪事件が多発している。地域社会と学校の連携を密にして、大人のネットワークの強化と地域住民の犯罪抑止力の向上を図る必要があると思うがどうか。

#### 近藤議員への答弁

一、対応については、今後も想定された計画に沿って実施する。指導者の派遣は、スポーツ交流全般と捉えて検討する。昨年も実施した文化・教育面での子どもとの交流は、民族芸能などを通じてその可能性を探りたい。

二、学校だけではなく、地域社会全体の問題として捉え、地域の人たちが学校に目を向けることが必要なことだ。地域との連携強化、不審者対策を含めた対応策を関係団体と協議調整している。学校と地域の連携が欠かせないが、現在は不十分である。通学路のパトロールを青少年関係団体で行う動きが出ている。今後市民運動の高まりが必要である。

#### 市民連合

坂本守正議員

- 一、留萌市地域防災計画について
- 二、留萌市発注の建設工事労働災害防止対策について

一、災害時の情報収集や情報発信等の現状と課題は何か。職員防災行動マニュアルに基づいた訓練はどのように実施するのか。避難勧告基準を明確にすることはできたのか。避難所の耐震構造の見直しや避難所における防災備蓄の整備と防寒対策は十分か。市民防災ハンドブックを作成し全戸配布すべきでは。

二、留萌市の発注する工事に於いて労働災害の発生状況は市発注工事において災害防止のため請負業者にどのような対策や指導を行っているか。労働災害防止対策に向けた建設担当職員、現場監督員の専門的な研修、育成が必要だ。

#### 坂本議員への答弁

一、昨年の台風・地震は過去の盲点をつかれた災害だった。情報の収集・伝達が難しいことがわかった。正確な情報をどのように収集し、住民に伝えるかを検討したい。訓練は指示伝達も含め行う。勧告基



患者の立場に立った医療を求めて



るもい展開催予定会場候補の一つ

準の数値化は今回明確にした。避難所は耐震構造の施設を中心に振り分ける。避難所には毛布、備蓄米等、一定程度の対応はできるように確保している。ハンドブックは説明会防災訓練での配布を考える。



留萌市地域防災計画の再点検を

進捗状況並びに今後の流れは計画実施の際に、いかに市民にかかわりを持たせるか。次世代育成支援に対し、どのような考えを持っていくか。るもい次世代育成支援行動計画の策定経過は。アンケート、住民懇談会の成果は。「留萌市児童育成計画」・「青少年のための留萌市プラン」との関連は。十七年度の具体的な事業展開はどうなっている。特別支援教育について、留萌市としてどのような対応をするのか。

◆松本議員への答弁

一、昨年九月に推進委員会を立ち上げ、アンケート・懇談会で実情を把握した。今後、福祉関係団体との懇談を予定している。次世代育成については、社会・家庭において子



福祉計画の進捗状況は

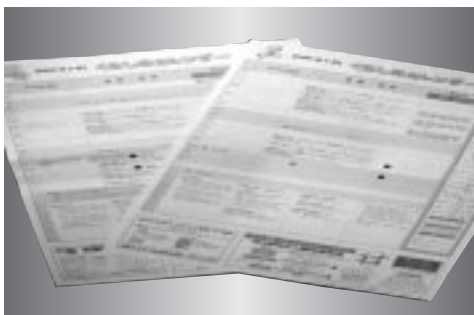
育て能力に疑問が生じている。子どもを育てる家庭を社会全体で支えていく。これらは心をつなげて取り組むものである。アンケートで要望の多かったファミリーサポートセンター事業は新規に実施し、留守家庭児童の対象は一年延長し、四年生まで受け入れる。子育て支援や健全育成という点では、「次世代育成支援行動計画」と既存の両計画は同じ視点にある。特別支援教育は法整備前であるが研修会等を行っている。全体像が見えていないが、わかっている範囲で周知活動を行いたい。

市民連合

野崎良夫議員

一、財源確保について  
二、道から市町村への事務権限移譲について

一、二十一年ぶりの赤字予算となったが、市政執行方針では「責任と反省」が言及されていない。市民に理解と協力を求めることを強調しているが説得力に乏しい。  
財源対策として公共施設などを広告媒体とし収入増を図るべきだ。  
又、収入役を廃止することによって、経費の削減を図れ



広告を媒体として収入増を図るべきだ

る。  
二、道からの市町村への事務権限移譲の方針を、三月末の策定としているが、市町村と十分な合意形成がない中での方針策定は拙速すぎる。権限、財政、人の三位一体でなければならぬ。

◆野崎議員への答弁

一、懸案事項の中で市民要望の多いものを建設し実施してきた。交付税の削減も大きな要因となっているが責任を回避するつもりはない。財政再建に向けて、更なる努力をしていく。広告については広報などですでに民間企業の活用をしている。収入役は会計の独立性を維持するためにも重要と思う。今後更なる活躍の場の検討を行う。

留萌公明党

村上 均議員

一、海のふるさと館の活用について  
二、防災対策について

一、現在海のふるさと館を自由な発想で施設の機能見直しを進めていると聞いているがこの留萌に縁のある版画家の阿部貞夫をふるさと館から全道に向け発信する拠点として阿部貞夫版画を常設展示してはどうか。  
二、昨年、留萌市を直撃した台風十八号・留萌南部・新潟中越・スマトラ島沖と地震が立て続けに発生し、その中で様々な教訓を得て新たな防災体制強化が望まれる。台風十八号以降の職員行動マニュアルを基に職員行動訓練を行い「防災の日」に全学的な避難訓練を実施してはどうか。  
緊急事態に対応できる自主防災組織の設置状況を聞きたい。

◆村上議員への答弁

一、留萌市地域福祉計画策定についての動きが鈍いようだ。  
二、安全は第一の課題であり過去二年間は無事故である。災害防止は、設計の段階から始まっている。着工前から計画書において対応している。職員研修も実施マニュアルも作成を行っている。道や関係団体の講習会も参加している。

萌芽クラブ

松本衆司議員

一、健康で思いやりのある地域社会づくりについて

一、現在ふるさと館の利用者の多くは資料館以外の利用が主体となっている。施設利用をニーズに合わせたものにするため運営管理の見直しを含め検討している。常設展示テーマは、「過去・現在・未来の留萌と海」ということで行っている。特別展示室の空いている期間に企画展として、百三十点所蔵している阿部版画の展示も考えられる。  
二、情報の速やかな提供・住民の意識高揚・災害用備蓄などが重要と考える。防災の日には全学的な訓練を予定している。自主防災組織の立ち上げが遅れている。六十五箇所の町内会に集まっていただき自主防災組織の設立にむけ努力していく。



海のふるさと館の機能見直しを

市民・民生ネットワー

高橋信郎議員

一、雇用問題について  
二、福祉問題について

一、中高齢者の就労希望者の実態調査を実施すべき。冬期技能講習制度の改善を国に要請し、合わせて実施団体への支援策を求めたい。新起業創出に地積調査事業を対象にしてはどうか。  
二、高齢者の実態調査が本年実施されるが、判り易い設問内容にし早めて貰いたい。時期はいつか。特別養護老人ホーム入居希望待機者が多いが、他都市施設への紹介状況等はどうなっているか。認知症患者の市内施設への入居状況はどうか。成年後見人制度への対策や、難病者への道医療費助成削減に伴う地元での対応策はどうか。狭隘の「かもめ共同作業所」の解消策はどうなっているのか。

◆高橋議員への答弁

一、各分野の雇用対策協議会と連携を図り実態を調査している。冬季技能講習制度については北海道市長会で要望し期間が延長されている。助成



老人ホーム入居希望待機者への対策は

金については協議していただけるの事はしていきたい。地籍調査事業については民間活力の利用も必要と考えている。  
二、平成十四年の高齢者実態調査の結果、閉じこもりが多いことがわかり、新高齢者福祉計画策定前に進める。老人ホーム待機者は五十一名認知症患者の入居状況は空きがある。成年後見人制度については本人の判断ができるうちに制度を活用していくことが最良と思う。難病者の実態について情報がとりづらい状況である。

かもめ共同作業所が狭隘であるが今後十分考えていく。

予算特別委

総務 費

Q 第五次総合計画を策定するうえでの基本的考えは何か。又、市民参加の方法は精査したい。職員の勉強会を開催するほか、市民対象の研修会も考える。成果指標に基づき満足度を高めていきたい。行政と市民と共により連携を運営する自治基本条例を検討したい。さらにはパッシブなミーティングの手法を導入するほか、パブリックコメントを取り入れる。十九年度に向けて策定したい。  
Q 中国管口港務集団有限公司との友好港締結から十五周年を迎える。今後はどのような方向で交流するのか。  
A 対岸貿易を視野に経済交流をどう進めるか課題となっている。  
Q コミュニティFMをどう活用するのか。  
A 新たな情報ツールとして市政、災害情報をリアルタイムで提供したい。検証しよりよい広報公聴活動のあり方を探っていく。  
Q FMを利用した情報提供の効果はどうとらえているのか。聴取率はどのくらいか。

A 聴取率は確認していないので調査し実態を把握したい。



Q 財政難のため収入役を廃止してはどうか。その場合には特別職三人の組織を維持できる体制が必要ではないか。  
A 助役を二人制にしているマチもあり、収入役廃止で助役の事務量が増え、責任が重くなるとの声もある。一方、コンピュータの普及で負担が軽減され、収入役は必要との意見もある。収入役の存廃はいろいろな角度から判断する必要がある。

Q 収入役は予算査定に際しては港湾振興・環境対策の特命事項を受けているがどのような法的根拠に基づいているのか。地方自治法違反の疑いがあるのではないか。  
A 執行機関の長は市長で、会計事務の最高責任者は収入役である。法律に沿って

市政のことが聞きたい

仕事をするのは当然であるが特別職としての顔も持ち、市長にアドバイスすることもある。会合では市長に代わって出席する事もあるが、自治法違反であるとは想定していない。

**Q** 職員は資質アップに向け全庁的な職員研修の取り組みが必要ではないのか。

**A** 限られた予算の中で効果的な研修が求められる。自主研修を柱とした体系作りをしたい。さらには政策決定の立場にある管理監督者の研修を進めたい。

**Q** 災害時の防寒対策は十分か。津波対策の避難所マップを作成するの。

**A** ポータブルストーブ、発電機は備蓄していない。発電機に備え、民間会社と発電機のリース協定を検討したい。地域住民と一語に避難所マップを作成したい。

### 民生費

**Q** 敬老祝い金を廃止し市長メッセージをおくるとのことだが、その理由はなにが子供達の手紙や絵を贈るなど地域で敬老を祝う視点はないのか。

**A** 生命にかかわる施策は継続し、その他のものについては縮小、廃止した。提案内容については考えていきたい。

**Q** 入浴助成券の助成額を五〇%削減するがその根拠



**A** は何か。事務事業の見直しや厳しい財政事情を踏まえ五〇%削減はやむを得ないと判断した。

**Q** 市民活動団体の充実に向け、助成だけではなく、要望を聴くなどして支援すべきだ。

**A** 市民活動団体は財政面で厳しい。事業を委託し一定の収入を確保しながら活動できるシステムを考えていきたい。

**Q** 協働と言う言葉が一人歩きしている。財政が厳しくなると出てきた言葉ではないのか。行政の下請け、行政の責任回避に結びつく懸念があると思うが現状はどうなのか。

**A** 行政と市民が対等の立場で業務を行い、住民サービスの向上を図るのが協働の定義。行政側からの押しつけであってはならない。目的、理念、情報を共有するルールが必要である。協働についての共通認識を持つための職員研修を行う。

### 衛生費

**Q** 十六年度の環境審議会の開催回数及びその内容は

**A** 十六年度の環境審議会の開催回数は、衛生費の活用策があれば利用しても良いと思う。しかし、観光施設にする考えは持っていない。船舶油濁損害賠償保障法の施行に伴う留萌港への影響はあるのか。

**A** 北朝鮮の船は入港していない。ロシア船のうち石炭・北洋材を載積する船は保険に加入している。古い力二船については保険会社が加入を拒否しているようだ。力二船の入港実績は何割か落ち込むのではないかとと思われる。

**Q** 礼受小学校は今年度で閉校となるがどのような利活用を考えているのか。

**A** 公共施設のカルテを作り廃止、転用を含めて方針を示したい。礼受小についてもカルテを作成する中で、教育委員会と協議しながら対応策を明らかにする。

**Q** 温水プール・ふるもの管理に要する経費が減額になつていて、その主な要因はなにか。

**A** 日曜・祝日の開館時間を短縮変更することにより経費の削減が図られる。

**Q** 一気に日曜・祝日の午後五時閉館は問題が残るのではないかと、様々な意見を聴いて欲しい。

**A** スポーツ審議会や体育協会の意見を聴いて概ね反対

**A** 審議会は二回開催した。環境基本計画やバイオマスタウン構想推進事業についての内容である。

**Q** 環境の日、環境月間の事業内容はどんなものか。環境パネル展、環境啓発など環境学習、教育を視野に入れて取り組んでいる。



### 労働費

**Q** 労働と求人ミスマッチがある。地元でも雇用実態を把握すべきだ。中高年者の実態調査については予算計上がされていないが、その対応は

**A** 地域提案型雇用創造促進事業を調査、研究したい。求人求職のミスマッチの解消に努めていく。中高年者の就職セミナーを開催するほか若

**Q** 「ふるも」の十六年度の入館分析をしているのか。十七年度のプール利用拡大に向けて、新たなメニューの工夫をしているのか。

**A** 十六年度は水泳関係では高齢者の利用も含め、落ち込んだ。しかし、エアロビクスなどのスタジオ利用者は増えている。また、回数券、特別券の利用者が増えた。今年度はマスターズ教室、高齢者の転倒予防バランス教室などのメニューを考えている。

**Q** 公債費は十九年度にピークを迎える。その後の見通しはどうか。公債費の平準化は可能なのか。

**A** 十七年度の起債八億七千万円で推移した場合、二十一年度は二十九億円、二十二年度は二十八億円になる見込みである。財政再建計画の中で起債圧縮も考えられる。国の公債資金の借り換えを認めるなどの情報がある。公債費が平準化されると負担は軽減される。

**Q** 特殊勤務手当の見直しに向けて検討する考えはないのか。

**A** 特殊勤務手当は現在二十五種類ある。本来業務との関係を見極める必要がある。対応団体と協議し、適時見直ししていく。

**Q** 市税の滞納にどう対応するの。

**A** きちんと支払っている人には不公平感を与えてはいけいない。実態を把握し、対策を講じたい。納税意識の薄

**Q** コールセンターから補助金交付の申請があるのか。従業員への定着率は低い。定着対策について協議しているのか。

**A** 二年目の事業であり現在申請書を審査しているが受理する見込みである。一年を経て八十四人を雇用している事の評価すべきである。就業に対しては企業を立地した責任がある。情報交換をしながら、さらに定着できるように努力したい。雇用が期待できる企業であると思う。



### 公債費

**Q** 一般会計から繰り出し金を出している神居岩スキームの今後の見通しはどうか。

**A** 経営状況は厳しい。市民利用者を交えて施設のあり方を検討していく。十九年度には、リフト改修の起債償還が終わるので節目になると

**Q** 市立病院の経営状況は依然として厳しい状態となっている。十六年度も新たな不良債務が発生した。要因は何か。

**A** 診療科の診療体制が固定医から出張医になった影響で約一億二千万、新たに、勤奨退職により一億七千四百万円の不良債務が発生した。今後、経営健全化計画の見直しのポイントとして挙げられるのは何か。

**A** 不良債務が十億円を超えた。亜急性期病床の導入がポイントと思う。次期の診療報酬改正を見据えて健全化計画を見直す。

**Q** 札幌市立病院、道立病院などでは医療ミス・事故を積極的に公表すると報道されているが市立病院も取り組むべきではないか。

**A** 院内に事故防止対策委員会を設置し、活動している。時代は情報公開の方向にある。どのような方法で公開するかは患者が安心して医療を受けられる形で公開しなければならぬ。札幌市立病院道立病院の取り組みを見守り検討したい。

**Q** 市立病院の経営状況は依然として厳しい状態となっている。十六年度も新たな不良債務が発生した。要因は何か。

**A** 診療科の診療体制が固定医から出張医になった影響で約一億二千万、新たに、勤奨退職により一億七千四百万円の不良債務が発生した。今後、経営健全化計画の見直しのポイントとして挙げられるのは何か。

**A** 不良債務が十億円を超えた。亜急性期病床の導入がポイントと思う。次期の診療報酬改正を見据えて健全化計画を見直す。

### 歳入

**Q** 市税の滞納にどう対応するの。

**A** きちんと支払っている人には不公平感を与えてはいけいない。実態を把握し、対策を講じたい。納税意識の薄

### 病院会計

**Q** 市立病院の経営状況は依然として厳しい状態となっている。十六年度も新たな不良債務が発生した。要因は何か。

**A** 診療科の診療体制が固定医から出張医になった影響で約一億二千万、新たに、勤奨退職により一億七千四百万円の不良債務が発生した。今後、経営健全化計画の見直しのポイントとして挙げられるのは何か。

**A** 不良債務が十億円を超えた。亜急性期病床の導入がポイントと思う。次期の診療報酬改正を見据えて健全化計画を見直す。

**Q** 札幌市立病院、道立病院などでは医療ミス・事故を積極的に公表すると報道されているが市立病院も取り組むべきではないか。

**A** 院内に事故防止対策委員会を設置し、活動している。時代は情報公開の方向にある。どのような方法で公開するかは患者が安心して医療を受けられる形で公開しなければならぬ。札幌市立病院道立病院の取り組みを見守り検討したい。

**Q** 市立病院の経営状況は依然として厳しい状態となっている。十六年度も新たな不良債務が発生した。要因は何か。

**A** 診療科の診療体制が固定医から出張医になった影響で約一億二千万、新たに、勤奨退職により一億七千四百万円の不良債務が発生した。今後、経営健全化計画の見直しのポイントとして挙げられるのは何か。

# 委員会活動

総務文教常任委員会  
民生常任委員会  
産業・建設常任委員会

## ◆総務文教常任委員会

〔二月十八日開催〕  
(総務部)

職員提案制度について  
市税等完納強調月間・目標達成状況及び十二月末の収納状況について  
医師住宅の集約について

(企画財政部)

留萌南部三市町村合併協議会の廃止について  
(教育委員会)

平成十六年度学校評議委員会の開催状況について  
小中学校での安全マップの作成について

社会教育施設等の運営管理について

映画上映会とルルモツペの地図に関する資料展の開催について

子どもに関わる不審者からの被害状況と対応について

青少年関係団体等連絡会議について

社会教育施設等運営審議会

の廃止について

〔二月二十四日開催〕  
(総務部)

防災マニュアルについて  
留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例制定について  
留萌市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

人事給与・勤務時間・定数・旅費関係の条例制定及び改正について

留萌市税条例の一部を改正する条例制定について

留萌市土地開発基金条例の廃止について

(企画財政部)

予算説明資料について

留萌市第五次総合計画の策定について

(教育委員会)

児童生徒の安全確保及び学校の安全管理の一層の徹底について

留萌市公民館等使用条例の一部を改正する条例制定について

留萌市教育総合センター設置条例の一部を改正する条例制定について

留萌市体育施設条例の一部を改正する条例制定について

留萌市東部地区公民館の指定管理者の指定について

## ◆民生常任委員会

〔二月二十四日開催〕  
(市立病院)

医師住宅の集約計画について(用地取得)  
平成十六年十二月末の患者数及び経営状況について

(生活福祉部)

事務事業評価対象事業について

次世代育成支援行動計画策定について

〔二月二十四日開催〕  
(市立病院)

平成十七年度診療体制及び病院事業会計予算について

亜急性期病床の取り組みと今後の方向性について

(生活福祉部)

平成十六年度一般会計補正予算(案)・国保会計補正予算(案)・老人会計補正予算(案)について

平成十七年度一般会計予算(案)・介護保険会計予算(案)・国保会計予算(案)・老人会計予算(案)について

留萌市バイオマスタウン構想について報告があった。

留萌市老人医療費の助成に関する条例の一部改正について報告があった。

委員会閉会后、留萌バイオマス処理センター(株)塩見工場

の視察を行った。



## ◆産業・建設常任委員会

〔二月十九日開催〕  
(経済交流部)

平成十七年度留萌市農業振興施策に関する建議書(農業委員会)について説明があった。

同じく、経済振興グループより、飛鳥サハリンクルーズ(九月七日〜十日予定)について、昨年十一月二十三日から二十五日に実施されたサハリン州訪問について、それぞれ報告があった。

(都市環境部)

都市整備課より、医師住宅の集約計画、船場公園整備のパシヨンミーティング結果について報告があった。

水道施設課より、第十回上下水道事業運営委員会につ



て報告があった。

〔二月二十三日〕

各所管より平成十七年度主要事業についてと関係する条例改正についての説明があった。

(都市環境部)

都市整備課より、積降雪状況、雪対策活動支援実施についての報告があった。同じく、建築指導課より、借上公営住宅の完成について報告があった。

下水道課より上下水道事業運営委員会について、水道施設整備事業の再評価実施について報告があった。

委員会閉会は、市内塩見町に開設された留萌バイオマス処理センターの施設を視察した。

# 陳情書

二〇〇五年三月二日

## 〔陳情の趣旨〕

留萌市は、平成十七年度から「高齢者入浴助成事業」並びに「敬老祝い金制度」の大幅縮小・削減を計画しています。もとよりこれらの事業は、「住民の健康及び福祉を保持すること」と謳った地方自治法にもとづく、地方自治体に課せられた大切な使命を具現化した貴重な施策であるばかりか、今日の高齢化の高まりとそれに伴う高齢者独居世帯の増加は、両事業が果たす役割がますます大きくなることは云うまでもありません。そして何よりも、利用者から大変喜ばれていることは周知のとおりです。

市が定めた「規則」にも明記しているとおり、高齢者入浴助成事業にあつては「高齢者が・・・助成対象施設に入浴する場合の費用を助成することにより、その高齢者の健康を保持するとともに、地域社会との交流を深め、もって高齢者在宅福祉の増進を図ることを目的とする」と述べ、敬老祝い金制度では「高齢の市民に対し敬老祝い金を支給し、社会に貢献した労をねぎらい、あわせて市民の敬老思想の高揚を図ることを目的とする」とあることから、これらの施策を一層拡充させることではないでしょうか。

私たちは、留萌市の財政状況が決して厳しくない状況にあることは周知しています。しかしこのたびの両事業・制度の縮小・変更・削減計画は、こうした制度の理念に反するばかりか、利用者はじめ施設を提供して事業に協力されている関係者の意見をまったく聞くことなく一方的に提案されています。これは、福祉行政の在り方の根本、さらには「市民こそ主人公」の市政の基本的立場からみて、また「市民参加」を市政執行方針として市民に約束している理事者の基本姿勢に照らしてみても、著しく反するもの指摘をせざるを得ません。

## 〔陳情の内容〕

一、高齢者入浴助成事業の縮小をしないで、平成十七年度も現行通り施行すること。  
二、敬老祝い金制度の改変・削減をしないで、平成十七年度も現行通り施行すること。

右陳情は不採択となりました。

# 傍聴席

留萌市泉町一丁目

中村政一

一般質問の通告内容を新聞で見て、友人とともに久しぶりに議会の傍聴を行った。

長引く不況の中で議員諸兄がどのような論議をするか拝聴しようと思いつてみた。

ちょうど雇用問題に触れた質問が行われ、わが身に直結する問題でもあり、答弁を聞いてみると、何かはつきりしない答弁で熱意が伝わらないものだった。もっと熱い論議を期待していた残念な気がして、道すがら同行の知人となんともいえず本意な気分が帰途に着いた。留萌市民の代表として議員諸兄の更なる活躍をお願いしたい。



# 編集後記

災害は忘れた頃にやってくるという言葉があります。昨年の台風18号・留萌南部地震・新潟中越地震・スマトラ島沖地震と立て続けに災害が発生、今年に入っても留萌沖合を震源地とする地震更に福岡県西方沖地震、昨年のスマトラ島からさほど離れていない場所での更なる地震が続いています。

各定例議会でも連続して防災対策が議論される中、市は昨年の台風18号を教訓に地域で防災対策の意識の向上、さらに自主防災組織設立のための説明会を開催しており、行政と市民とが協働で災害に強い地域を今こそ作る時なのではないでしょうか。

(村上 記)

## 議会広報特別委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 石塚正寛 |
| 副委員長 | 村上均子 |
| 委員   | 村田亮  |
| 委員   | 珍田順次 |
| 委員   | 江沢千鶴 |
| 委員   | 菅原千衆 |
| 委員   | 松本   |